



東陽病院
内科医師
鈴木健士

健康ウォッチング

④

横芝町のみなさんこんにちは。前回までは代表的なガンについてお話ししてきましたが、今回はその他のガンを簡単に触れてみたいと思います。

前回まではガンの治療で手術以外の治療法はあまり効果がないとお話しました。しかし種類によってはかなりの効果が期待できるものもありますので、ご紹介しましょう。

よくドラマなどに出てくる白血病という病気はみなさんもご存じかと思えます。これは血液の元になる細胞の悪性腫瘍です。この病気は血液の成分をつくる細胞が変になり、出来損ないの血液細胞しかつけないために貧血になったり、ばい菌にやられやすくなったり、出血しやすくなったりするのです。この病気は他のガンとは異なり「こ」という場所のできるのではなく、血液の元の細胞が入っている全身の骨の中（骨髄といえます）に腫瘍があるため手術

ガンのはなし

その他のガンについて

はできません。しかし抗ガン剤は一般に有効です。よく効くタイプの白血病では完治も可能です。抗ガン剤で腫瘍細胞を全滅させるのです。その後ダメージを受けた生き延びた正常細胞が蘇るのを待つか、または正常な骨髄細胞を移植するのです。

白血病に似た血液のガンに悪性リンパ腫という病気がありますが、これも同じような抗ガン剤による治療でかなり良好な成績を得ています。

また女性の敵である子宮ガンは手術が可能であればもちろん手術を行いますが、タイプによっては放射線による治療もかなり有効です。同様に女性特有のガンである卵巣ガンは手術で切除しきれないような腫瘍でも、抗ガン剤がかなり有効なものがあります。しかし卵巣ガンはその種類が多様であるため、そのタイプによって抗ガン剤の効果も様々です。また皮膚や舌のガンにも放射線治療がかなり効果をあげているようです。

他にもいろいろなガンがありますが、ガンの治療は総じてまだ発展途上といえると思います。抗ガン剤の効果に疑問を投げかける本も出版されています。確かに効果が不確かな治療は安易に試されるべきではありませんし、もっともな意見だと思えます。しかしすべての治療法を否定するような「がんと闘うな」という意見には賛成できません。

中にはもうどんな治療法も残っていない場合もあります。そんな時はいたずらに体力を奮い、効果があるかわからない治療は勇気を持って止めるべきでしょう。しかし自分の病気から逃げ出さずに恐くても自分のからだの状態をよく知って、必要な治療はきちんと受ける勇気も大事なのだと思えます。



暮らしのワポイント

④

クレジットカードの利用 “借金”であることを忘れずに

サインひとつで手軽に買い物ができるクレジットカード。

でも、手軽なだけに使っている方に注意も必要。

万一、紛失や盗難という事態に陥ったら、第三者に不正使用されないよう、直ちにカード会社と警察に連絡を入れ、無効の手続きをとりましょう。届け出前に使用されてしまったら、盗難保険に入っていれば損害額が戻ってきます。カード会社の紛失・盗難係の電話番号は必ず控えておきましょう。特に海外旅行へ出掛けるときは、旅行先のサービスセンターの電話番号も忘れずに。

簡単に不正使用されないためにも、暗証番号をひとひねりしておきましょう。誕生日や電話番号などは、免許証と一緒に落としたりとときに被害に遭いやすいので、避けられた方が賢明です。うっかりしがちなのが、引越した後の住所変更届。住所が変わったら、銀行だけでなくカード会社にも届け出が必要で、届き出を忘れると、カードが使えなくなったり、新しいカードが前の住所に送られて事故につながる可能性もあるので、注意



してください。

クレジットカードは銀行や百貨店など実に多くの会社が発行しています。簡単に作れるからと、勧められるまま二枚、三枚と複数のカードを持つ人がいますが、それだけ年会費がかさんで不経済な上、いざという時、紛失や盗難に気づくのが遅れるというデメリットもあります。カードはあまり多く持たず、目的に合わせたメインカードに絞るようにしましょう。

最近では収入に見合わない買い物をする「クレジット・ホリック（中毒）」に陥る人もいます。呼び名はクレジットでも、それが自分の「借金」であることを忘れないようにしてください。